

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和5年 7月27日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO・ 地域DMO	
観光地域づくり法人の名称	一般社団法人新発田市観光協会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 新潟県新発田市	
所在地	新潟県新発田市諏訪町一丁目2番11号 MINTO館内	
設立時期	平成26年2月14日	
事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年間	
職員数	11人【常勤6人（正職員4人・契約社員1人・出向等1人）、パート5人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 清田 稲盛樹 （出身組織名） （株）三菱電子	令和4年度まで新発田市の産業関係課を束ねる産業戦略監として勤務し、令和5年度に本法人の代表理事として選任された。行政時代の豊富知識を元に新発田市の観光地経営を進めるため、行政と役割分担をしながら事業を推進する。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 井上 雅俊「専従」 （出身組織名） （一社）新発田市観光協会係長	大学時代4年間に経済学及びマーケティングや経営学、会計学を学び、新発田市観光協会に入社した。その後、法人組織の設立及びDMO登録をはじめ、協会内の事業企画及びマーケティング分析業務、当協会の方針の作成に取り組んできた。その中で国内旅行業務取扱管理者資格を取得し継続的な地域との合意形成業務に努めている。
財務責任者（CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 井上 雅俊「専従」 （出身組織名） （一社）新発田市観光協会係長（兼務）	平成23年の観光協会の立ち上げ、平成26年の法人化、平成29年のDMO候補法人申請に関わってきており、法人の財務状況、収入状況について、整理を行ってきている。現在に至っても新たな財源の模索、経理責任者として従事している。
プロモーション・旅行商品の造成の	（氏名） 佐藤 和紀「専従」	プロモーション・旅行商品の造成・販売及びおもてなし向上事業の責任者。マスコミ系の専門学校

<p>責任者（専門人材） ※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること</p>	<p>（出身組織名） （一社）新発田市観光協会 企画員</p>	<p>でスポーツライターとしての知識を習得し、その後、旅行会社へ勤務。国内旅行での添乗員業務に従事し、総合旅行業取扱管理者、通訳案内士などの資格を取得した。民間旅行会社でのノウハウを活かしながら旅行商品造成及び地域のおもてなし事業に取り組んでいる。</p>				
<p>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</p>	<p>新潟県新発田市 観光振興課（インバウンド等観光客誘致、プロモーション） 農林水産課（新発田産農産物等の販路拡大、農家所得向上） 商工振興課（新発田市内での消費促進、企業誘致） スポーツ推進課（MICE、スポーツ合宿等誘致） 市民まちづくり支援課（二次交通対策、市民啓発促進） 文化行政課（文化財の活用）</p>					
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p>新発田商工会議所（市内事業者への啓発、商品開発） 月岡温泉旅館協同組合、新発田市ホテル旅館協同組合、(有)エス・オー・ディー（宿泊サービスの付加価値向上、改善） ミライズ、花安、金子屋老舗、菊水酒造（土産品開発、観光消費の拡大） 割烹北辰館、(有)豊谷殿（食の開発、ホスピタリティ向上） 新発田市ハイヤータクシー協会（交通網の整備） 北越後農業協同組合（農畜産物の付加価値向上、観光消費の拡大） 新発田信用金庫（融資等金融支援）</p>					
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>（例） 【該当する登録要件】① （概要）観光資源の関係者、宿泊事業者、交通事業者、商工会議所等を当法人の理事として選任し、理事会において法人の意思決定を行う。また、理事会においては行政がオブザーバーとして参画し、役割分担を実施。 【参考】登録要件 ①取締役、理事など観光地域づくり法人の意思決定に関与できる立場で行政、文化、スポーツ、農林漁業、交通等の幅広い分野の関係団体の代表者が参画 ②観光地域づくり法人が主導して行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等を設置</p>					
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>新発田市民で構築される新発田市観光ガイドボランティア協会の事務局を当協会が引き受け、城下町の歴史を中心にガイド養成、ホスピタリティ向上、市民への啓発活動として市報への活動内容の広告を行っている。その他、ガイド協会が中心となり、新発田駅前の事業所を巻き込みながら歩きながら城下町の風情が楽しめるルートづくりを行っており、当協会としても支援をしている。</p>					
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>【活動の概要】</p> <table border="1" data-bbox="432 1659 1409 2027"> <thead> <tr> <th data-bbox="432 1659 619 1711">事業</th> <th data-bbox="619 1659 1409 1711">実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="432 1711 619 2027"> <p>情報発信・プロモーション</p> </td> <td data-bbox="619 1711 1409 2027"> <p>・平成28年日本版DMO設立事業 具体事業内容 DMO設立を目指し、インバウンドの足掛かりを作るため、台湾をターゲットに「日本の観光・物産展2016」への参加、「日本博覧会・弘前市文化物産展示会」への参加、台湾旅行エージェント招聘、台湾旅行推進旅行産業交流団の招聘、その他産業事業者招聘を行った。</p> </td> </tr> </tbody> </table>		事業	実施概要	<p>情報発信・プロモーション</p>	<p>・平成28年日本版DMO設立事業 具体事業内容 DMO設立を目指し、インバウンドの足掛かりを作るため、台湾をターゲットに「日本の観光・物産展2016」への参加、「日本博覧会・弘前市文化物産展示会」への参加、台湾旅行エージェント招聘、台湾旅行推進旅行産業交流団の招聘、その他産業事業者招聘を行った。</p>
事業	実施概要					
<p>情報発信・プロモーション</p>	<p>・平成28年日本版DMO設立事業 具体事業内容 DMO設立を目指し、インバウンドの足掛かりを作るため、台湾をターゲットに「日本の観光・物産展2016」への参加、「日本博覧会・弘前市文化物産展示会」への参加、台湾旅行エージェント招聘、台湾旅行推進旅行産業交流団の招聘、その他産業事業者招聘を行った。</p>					

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度～令和 3 年度 観光イノベーション事業 具体事業内容 地域づくり法人として、情報発信及びプロモーションを行うため、外国語対応のホームページ改修、新発田市全体の観光PR動画の作成と多言語化、台湾、中国、韓国などへの新発田市長のトップセールスを通し、海外旅行会社へのプロモーションを行い、月岡温泉への外国人宿泊客の誘客を実施した。 ・平成 29 年度～令和 5 年度 農産物等拡大事業 具体事業内容 平成 29 年に台湾「FOOD 台北」に出展し、新発田産米を中心として、和菓子や村上市胎内市と協力して各種加工品のPRと観光PRを併せて実施した。その後、行政の支援により新発田産コシヒカリの輸出に足掛かりができた。また、新発田産米専用の販売袋を作成し、台湾、香港、シンガポール、ニューヨークなどの都市に新発田市長自身のトップセールスを行い、販売促進と観光PRなどを実施した。 ・平成 28 年度～継続 新発田市観光情報センター運営事業 具体事業内容 平成 28 年度から新発田駅前の複合ビルに観光案内所を移し、「新発田市観光情報センター」として運営を行ってきた。外国人観光案内所カテゴリー 2 を取得し、多言語による旅ナカの案内業務を実施してきた。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、案内所の機能だけではなく旅行商品の販売窓口としても運営している。
受入環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年外国人観光案内所整備事業 具体事業内容 新発田市からの補助金を活用し、新発田駅前に新設されるビルに「新発田市観光情報センター」を開設し、外国語のできる職員（英語、中国語等）を雇用し、JNTO 認定外国人観光案内所カテゴリー II を取得した。 ・平成 28 年～継続 新発田市観光情報センター運営事業 具体事業内容 JNTO 認定外国人観光案内所カテゴリー II を活用し、随時情報発信と観光客への案内を行っている。また、窓口職員に対し、一定程度英語で案内できるよう OJT を通し、教育を行っている。 ・平成 26 年～現在 二次交通対策事業 具体事業内容 二次交通対策として新発田市と協働で新潟駅や新潟空港、新発田駅などの交通拠点と月岡温泉と市街地を結ぶバス事業の整備を行っている。平成 30 年度から地元旅行会社と連携

		<p>し、新潟県の支援も活用した形で新潟空港、新潟駅、月岡温泉を結ぶ周遊ライナーを企画した。現在は、継続した事業となるよう調整を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度～現在 旅行予約手配窓口機能の強化事業 主に韓国観光客向けに予約手配のワンストップ窓口として、宿泊とゴルフプレーと交通の複合手配を実施し、機能強化を図った。令和 2 年度では新型コロナウイルスの各線拡大により、失われた観光需要と取り戻すため、マイクロツアーリズムとして、国や県が実施する経済対策事業を活用し、宿泊手配や旅行手配の窓口として顧客に対し販売を実施した。 																																										
	観光資源の磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年～現在 着地型旅行商品造成事業 具体事業内容 平成 26 年から取得した第三種旅行業を活用し、地域の素材に商品価値がでるよう着地型旅行商品の造成事業を行っている。過去には伝統のまつりの見学ツアーや観光ガイドを活用したまちあるき商品を造成した。 平成 29 年から月岡温泉の宿泊とゴルフプレーとタクシー送迎をパックにした商品を造成し、海外（主に韓国）に対し、月岡温泉の新たな付加価値商品とセールスコールを実施した。 今後は、従来からある新発田市の観光資源と月岡温泉との宿泊、地域の食や体験などを組み合わせた商品造成と販売により顧客情報の収集と顧客目線での商品開発を実施する。 平成 23 年（任意団体設立時）～現在各種イベント開催事業 平成 23 年度の立ち上げ時から「新発田の春まつり」「しばたあやめまつり」「城下町新発田まつり開催事業」など伝統的に協会が担ってきた事業について、市民並びに各種事業者と協働で事業を進めてきた。これらの事業に関して協会の母体となる事業と定義し、事業内容の棚卸を実施し一定の業務体制を整え、観光資源として磨き上げを行い、コロナ禍での現状に合わせた事業内容とすることとしている。 																																										
<p>【定量的な評価】 (定量的な評価)</p>																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>H31/R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光入込客数(人)</td> <td>2,612,531</td> <td>2,387,284</td> <td>1,202,884</td> <td>1,264,217</td> <td>1,609,489</td> </tr> <tr> <td>観光協会HP閲覧数(人)</td> <td>176,063</td> <td>176,099</td> <td>132,642</td> <td>135,178</td> <td>165,891</td> </tr> <tr> <td>観光案内所利用数(人)</td> <td>12,852</td> <td>11,633</td> <td>13,419</td> <td>13,289</td> <td>14,312</td> </tr> <tr> <td>外国人案内所利用数(人)</td> <td>83</td> <td>139</td> <td>7</td> <td>11</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>月岡温泉外国人客数(人)</td> <td>4,514</td> <td>3,425</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>764</td> </tr> <tr> <td>二次交通利用者数(人)</td> <td>749</td> <td>1,222</td> <td>953</td> <td>656</td> <td>592</td> </tr> </tbody> </table>	項目	H30	H31/R1	R2	R3	R4	観光入込客数(人)	2,612,531	2,387,284	1,202,884	1,264,217	1,609,489	観光協会HP閲覧数(人)	176,063	176,099	132,642	135,178	165,891	観光案内所利用数(人)	12,852	11,633	13,419	13,289	14,312	外国人案内所利用数(人)	83	139	7	11	19	月岡温泉外国人客数(人)	4,514	3,425	0	1	764	二次交通利用者数(人)	749	1,222	953	656	592
項目	H30	H31/R1	R2	R3	R4																																							
観光入込客数(人)	2,612,531	2,387,284	1,202,884	1,264,217	1,609,489																																							
観光協会HP閲覧数(人)	176,063	176,099	132,642	135,178	165,891																																							
観光案内所利用数(人)	12,852	11,633	13,419	13,289	14,312																																							
外国人案内所利用数(人)	83	139	7	11	19																																							
月岡温泉外国人客数(人)	4,514	3,425	0	1	764																																							
二次交通利用者数(人)	749	1,222	953	656	592																																							

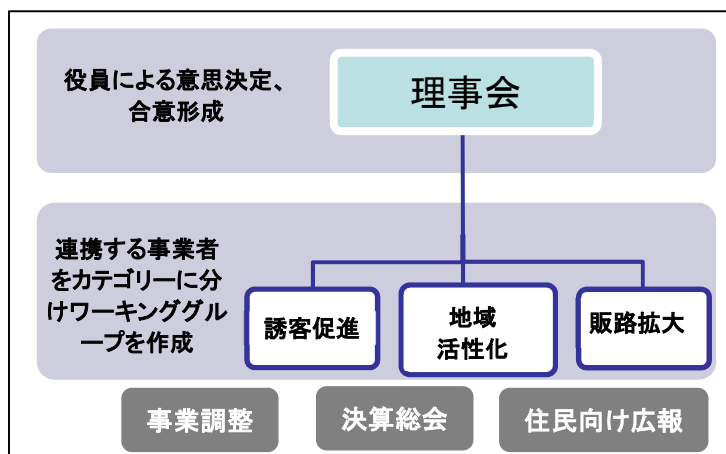
	旅行業取扱人数（人）	2,030	68	567	5,855	5,855
	旅行業取扱額（円）	17,070,363	4,977,328	11,002,887	75,717,546	102,408,190

実施体制
※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

【実施体制の概要】

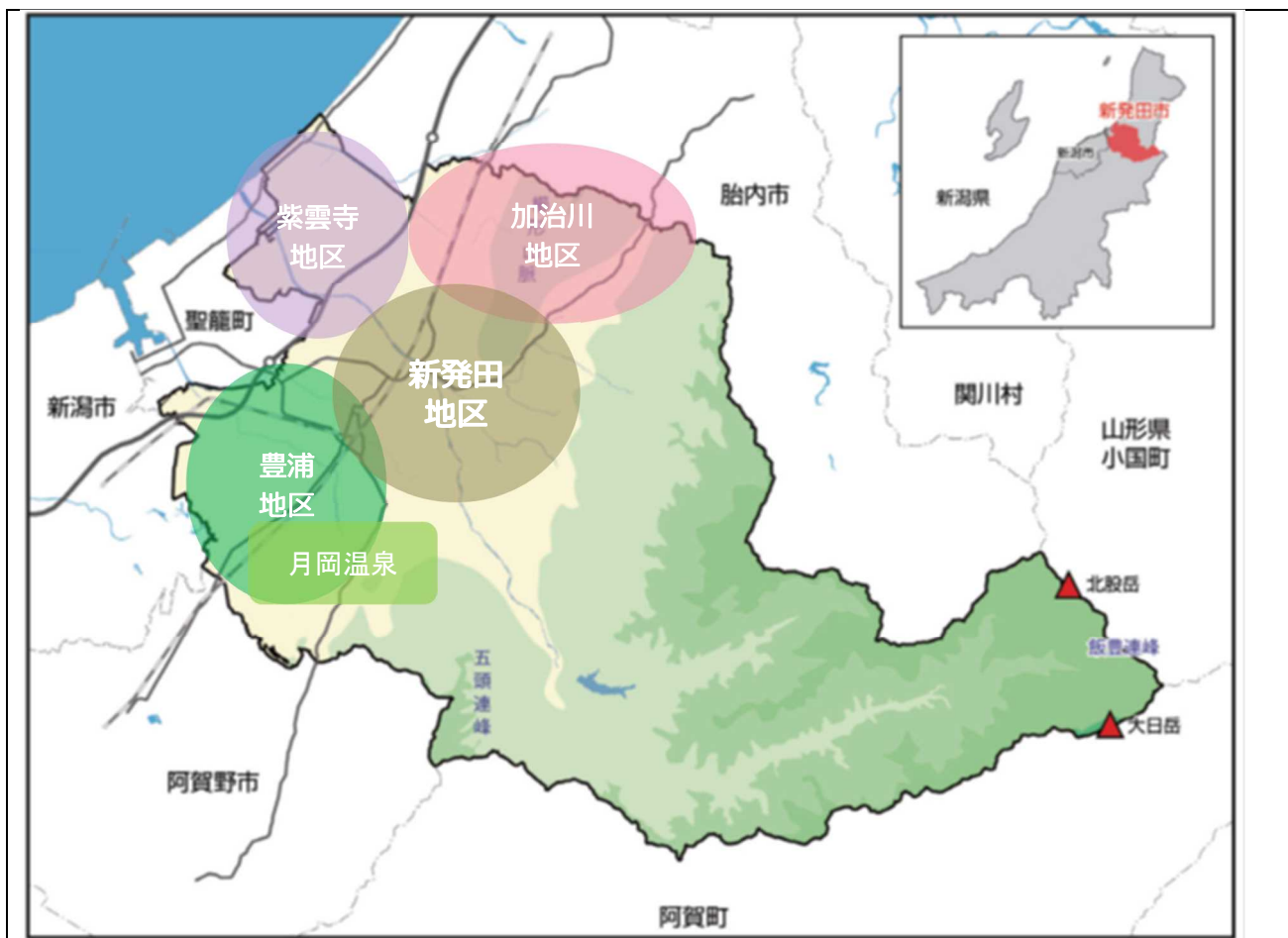
（一社）新発田市観光協会の理事に宿泊業者、飲食業者、交通事業者、アクティビティ、農林水産業、商工業などのステークホルダーを集め法人の意思決定、合意形成を行う。また、各理事に誘客促進、地域活性化、販路拡大というカテゴリごとにワーキンググループをつくり、戦略策定や事業調整、ターゲットやテーマ別の協議が行える体制を整えている。

【実施体制図】



2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

※安定的かつ継続的に区域としての一体性を確保する観点から、地域における自然、歴史、文化等の関係性を踏まえて記入すること。

(例) ○年から、区域を構成する地方公共団体で連携協議会を設置しており、顧客視点に立ち、旅行商品の開発、周遊パスの企画など連携した取組を実施。

また、観光資源の面からみてもコンセプトとして共通する点が多く、当該市町村で連携した区域設定とするのが適切。

現在の新発田市は、平成 15 年 7 月に県内でも有数の温泉地「月岡温泉」を有する旧豊浦町と、平成 17 年 5 月には、海、川、山の自然資源を有する旧紫雲寺町、旧加治川村が合併することで誕生した。県内最大級の宿泊施設を有する月岡温泉をプラットフォームとし、城下町の歴史文化資源や、山、川、海のアクティビティが全て揃っている恵まれた自然資源を有機的に連携させることで観光客目線での受入に繋げることができる。また、加治川が潤す肥沃な大地の恵みを受け、生産されたコシヒカリ、アスパラガス、イチゴ「越後姫」などの農産物や、これらを原材料とした和菓子、食品加工品等を活用し効率的なサプライチェーンを構築することができる。

このことから、新発田市全域をマーケティングエリアとする。

また、旅行目的の多様化から首都圏、関西圏、インバウンド誘客などは、村上市、胎内市、関川村、粟島浦村、聖籠町、阿賀野市等と有機的な連携を図り、協働で事業を展開している。

【観光客の実態等】

新発田市の観光客の令和元年度の入込数については、全体で 2,387,284 人であり、延べ宿泊者数 325,602 人、月岡温泉利用客は 506,746 人、新発田城や清水園などの歴史文化施設は 103,888 人、スポーツ施設やスキー、ゴルフなどのアクティビティは、463,088 人、二王子岳や藤塚浜海水浴場などの自然資源は 162,190 人となっている。

当市の「産業プラットフォーム」の位置付けである「月岡温泉」においては、平成 28 年に実施したアンケート結果から宿泊客利用のうち自家用車で利用される割合は 81.8%、直近の都道府県別利用割合では、新潟県内利用客が 57.82%、関東地方 24.18%となっている。また、一人当たり観光消費額についても、平成 29 年では 17,200 円、平成 30 年では 16,602 円となっている。

以上のことから、新発田市に訪れる観光客はほぼ自家用車利用が多く、観光消費についても宿泊料を中心に使われている現状となっている。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

ジャンル	観光資源	活用方法
温泉	月岡温泉、紫雲の郷、百花の里城山温泉、新発田温泉あやめの湯、二王子スパーク	主に月岡温泉について、産業プラットフォームの位置づけとして、情報発信基地、地産品のサプライチェーンの構築、顧客満足度の充実を図るため、空き店舗の活用などを行っている。
歴史・文化	新発田城、清水園、菅谷不動尊、市島邸、五十公野御茶屋、刀剣伝承館、旧県知事公舎記念館、落谷虹児記念館、蔵春閣(大倉喜八郎別邸)	江戸時代からの意匠が残る街並みと景観を維持しながら、新発田市の歴史と文化を伝えられるよう観光ガイドボランティアとの街歩きなどにより情報発信している。
伝統行事	城下町新発田まつり、岡田大日堂火渡り修行、天王まつり、花市、新発田豊年秋まつり、義士祭、月岡温泉どんと祭り、菅谷寺節分会、赤谷どんつきまつり、大友稲荷初午祭	新発田の文化と伝統を伝える各種歴史的行事を市民と一緒に開催し、維持・運営している。
自然	二王子岳(日本二百名山)、櫛形山脈大峰山、大峰山椽平サクラ樹林(天然記念物)、藤塚浜海水浴場(日本海)、新潟県立紫雲寺記念公園(オートキャンプ場)、荒川剣龍峡、焼峰山、俎倉山、蒜場山、内の倉ダム、加治川治水記念公園、加治川堤、滝谷森林公園	行政による山道管理や海水浴場の管理により、安心安全なアクティビティスポットとして運営している。
スポーツ施設	五十公野公園【陸上競技場(収容数 2,188 人)、野球場(収容人数 11,000 人)、天然芝多目的グラウンド、テニスコート(6 面)、屋内体育施設サンビレッジしばた(バスケットコート 2 面/バレーボールコート 2 面、テニスコート 2 面/バドミントンコート 8 面、卓球場等)】 カルチャーセンター【メインアリーナ(収容数 1126 席)、卓球場、剣道場、柔道場】 新発田中央公園【人工芝グラウンド(サッカー、ラグビー用)、テニスコート】	スポーツカルチャーツーリズムとして、各種合宿誘致やスポーツ大会の誘致、新発田市内でのスポーツ大会の開催により、地域経済の活性化、市民交流などを進め、スポーツを通じた地域環境の充実に努める。
地産品	米、アスパラガス、越後姫、新発田牛、日本酒、和菓子、各種加工品等 <施設> 市島酒造、菊水酒造、道の駅加治川	新発田産農産物の輸出を通し、新発田市の PR と販路拡大により、持続可能な農業、商工業の仕組みづくりとインバウンド誘客に活用している。

イベント	新発田城址公園桜まつり、加治川桜まつり、松塚漁港魚まつり、全国うまいもん横丁、城下町しばた全国雑煮合戦	新発田市の各種観光素材を活用したイベント開催により、新発田市のPRと観光客の受け入れに繋げる。
スポーツ、アクティビティ、体験	紫雲ゴルフ倶楽部、フォレストゴルフクラブ、ノーブルウッドゴルフクラブ、中峰ゴルフ倶楽部、新発田城カントリー倶楽部、ニノックススキー場、アドバンファームしばた、倉島りんご園	地域の素材を点ではなく線で結ぶため、月岡温泉宿泊客を対象にスポーツアクティビティであるゴルフプレーとのパック商品の卸販売により、観光素材の磨き上げを行っている。

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

地区	ホテル・旅館		
	軒数	客室数	収容人員
豊浦地区（月岡温泉）	15	546	3003
新発田地区	10	416	624
紫雲寺地区	6	58	271
合計	31	1,020	3,898

【利便性：区域までの交通、域内交通】

交通区分	内容
列車（JR）	東京駅から新発田駅・・・約2時間20分 大阪駅から新発田駅・・・約6時間7分（東京駅経由）
飛行機	北海道札幌市・新千歳空港から新潟国際空港・・・約1時間25分 愛知県名古屋市・中部国際空港から新潟国際空港・・・約1時間5分 愛知県名古屋市・小牧空港から新潟国際空港・・・約1時間5分 大阪府・伊丹空港から新潟国際空港・・・約1時間10分 福岡県・福岡空港から新潟国際空港・・・約1時間55分 千葉県・成田空港から新潟国際空港・・・約1時間10分 韓国・仁川空港から新潟国際空港・・・約2時間 中国・浦東空港から新潟国際空港・・・約3時間 中国・ハルビン太平国際空港から新潟国際空港・・・約2時間15分 台湾・桃園国際空港から新潟国際空港・・・約3時間15分 ※新潟国際空港より路線バスで新潟駅経由新発田駅・・・約1時間5分 ※新潟国際空港より車で新発田駅・・・約40分 ※新潟国際空港より月岡温泉行周遊ライナー・・・約2時間30分
車	○東京から 関越自動車道経由 東京・練馬 IC から新潟空港 IC から聖籠・新発田 IC ・・・約4時間30分（新潟空港 IC 日本海東北自動車道） ○大阪・京都方面から 阪神・名神自動車道経由 米原 JCT から新潟空港 IC から聖籠新発田 IC ・・・約6時間30分（米原 IC 北陸自動車道 新潟空港 IC 日本海東北自動車道） ○盛岡方面から 東北自動車道 盛岡南 IC から郡山 JCT から安田 IC から新発田市 ・・・約5時間50分 ○青森・秋田方面から

	青森自動車道、東北自動車道から小坂 JCT から河辺 JCT から聖籠・新発田 IC ・ ・ (小坂 JCT 秋田自動車道、河辺 JCT 日本海東北自動車道) 約 6 時間 30 分
域内交通	○新発田駅から月岡温泉 JR 羽越本線 新発田駅から月岡駅・ ・ ・ ・ 約 9 分 路線バス 月岡駅から月岡温泉街・ ・ ・ ・ 約 10 分 路線バス 新発田駅から月岡温泉街・ ・ ・ ・ 約 20 分 ※路線バスについては、平日のみ運行 車で 新発田駅から月岡温泉街・ ・ ・ ・ 約 15 分 ※新潟国際空港より月岡温泉行周遊ライナー・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 約 2 時間 30 分

【外国人観光客への対応】

区分	対応内容
観光案内所整備	新発田駅前設置した「新発田市観光情報センター」を J N T O 認定観光案内所「カテゴリーⅡ」を取得し、英語並びに中国語ができるスタッフを配置し対応している。
パンフレット作成	英語、中国語（簡体字、繁体字）用の観光パンフレットを作成し、観光案内、観光 P R に活用している。
W i - F i 環境整備	新発田市並びに観光施設を中心に「Shibata_City_Free_Wi-Fi」を設置している。その他、ほとんどの宿泊施設を中心に W i - F i 環境が整備されている。
外国人向けホームページ	観光協会ホームページ「しばた観光ガイド」を英語翻訳し、インターネットを通じ観光 P R を行っている。
デジタルサイネージ	新発田市観光情報センターに設置した「デジタルサイネージ」を多言語化し、口頭での職員案内を併せて観光案内を行っている。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	効果測定、経済波及効果の分析、評価・改善の基礎資料	観光庁公表「共通基準による観光入込客統計」から新潟県を抽出し、過去のデータから新発田市限定の観光消費額を推計
延べ宿泊者数	効果測定、経済波及効果の分析、評価・改善の基礎資料	新発田市統計による旅館・ホテルへのアンケート調査
延べ外国人宿泊者数	効果測定、経済波及効果の分析、評価・改善の基礎資料	新発田市統計による旅館・ホテルへのアンケート調査
来訪者満足度	効果測定、経済波及効果の分析、評価・改善の基礎資料	新潟県統計による旅館・ホテルへのアンケート調査
リピーター率	効果測定、経済波及効果の分析、評価・改善の基礎資料	新潟県統計による旅館・ホテルへのアンケート調査

WEBサイトのアクセス状況	効果測定、経済波及効果の分析、評価・改善の基礎資料	Google アナリティクス
住民満足度	今後集計予定	今後集計予定

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

新発田市では、製造業、建設業、卸売小売業、農業が主要な産業であったが、平成15年に旧豊浦町と合併し「月岡温泉」を有することで、宿泊業、飲食サービス業の付加価値額が飛躍的に伸びた結果、市内の就業人口の増加や卸売業、小売業への波及効果の影響が大きくなった。

しかし、近年の人口減少、ニーズの多様化、団体旅行客の減少と個人旅行の増加といった旅のスタイルの変化から、当市においても事業所数、就業人口の減少が進んでいる。とりわけ小売業、卸売業の事業所数の減少が顕著であった。

また、県都新潟市と隣接はしているものの観光交通拠点である新潟駅、新潟空港からのアクセスの課題、内需がベースとなっていることから観光客向け土産品の不足、ICTの活用不足などの要因により、観光による地域に及ぼす経済効果が薄い状態が続いていた。さらに、令和元年12月から広がった新型コロナウイルス感染症により、経済、生活などに甚大な影響を及ぼし、従来からの事業はもとより観光地域づくり事業において、方針転換が余儀なくされることとなった。

以上のことから、コロナ禍における新しい事業展開について、観光地域づくり法人を中心に産業連携を図り、観光誘客、農作物販路拡大、商工業活性化により経済波及効果を高めるため、観光地域づくりを推進することとしている。また、今後コロナ禍からの回復が見込める段階で、インバウンド誘客と土産品の海外輸出を包括した事業を継続して実施していくこととしている。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p>強み (Strengths) ・自地域で積極的に活用できる強みは何か？</p> <p>◆歴史・文化：新発田藩10万石の風情と文化が色濃く残る城下町 新潟県内で唯一の江戸時代からの城郭が残る新発田城 国重要文化財足軽長屋に国指定名勝の溝口家下屋敷の清水園</p> <p>◆温泉街：「歩いて楽しい温泉街」月岡温泉 国内随一の硫黄成分含有量を誇る、エメラルドグリーンの美肌温泉 新潟の酒、発酵食品、米菓を楽しめるお店やイルミネーションが集積した温泉街</p> <p>◆ガストロノミー：清流が育んだ豊かな食文化 アスパラガスや越後姫など高品質な農産物、日本酒、和菓子、4つの日本酒蔵を有し、その一つ菊水は全国的に高い知名度</p>	<p>弱み (Weaknesses) ・自地域で改善を必要とする弱みは何か？</p> <p>◆景観整備・統一感の不足による魅力の低減とブランド価値低減 月岡温泉街のメイン通りに廃屋が放置されるなど、街歩きを楽しむ温泉街の風情が失われている 設備投資の遅れから団体客受入のための設備が残っており、観客ニーズや“特別感”と合致しない施設が一定数存在</p> <p>◆域地域内・エリア内の周遊促進の仕組みが不足 宿泊施設と観光施設の連携が進んでいない。エリア間周遊が少なく、更なる観光消費拡大を図れる機会を逃している</p> <p>◆観光客の利便性が不十分なことによる機会損失 観光客向けの交通網整備やWEB予約活用、コンテンツのリスト化が不十分であり、潜在的な機会損失を招いている</p>

外部環境	<p>機会 (Opportunity) ・自地域にとって追い風となる要素は何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆コパーソナライズされたサービスの需要増 団体旅行需要の消失、密回避のため個人旅行 ニーズ上昇 ◆インバウンド観光客の再始動・活発化 新潟空港へ台湾直行便就航、クルーズ船の再開など、インバウンド観光客の受入が活発化 ◆観光に関する投資機運の醸成 コロナ禍により、観光を収益の柱とするような動きが増加傾向 月岡温泉街での空き家リノベーションや景観整備を進めるミライズの取組や、寺町エリアでの「寺開き」など城下町文化の磨き上げ、飲み屋街で新規顧客開拓に向けた「バルイベント」等 	<p>脅威 (Threat) ・自地域にとって逆風となる要素は何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆社会状況の変化・ニーズの多様化 多様化したニーズを把握することが難しくなっている。事業者は勤に頼った経営ではなくデータを活用した事業運営が求められる ◆インバウンド需要が増加してきているが、標識や案内など受入環境整備が必須となっている ◆他地域の温泉街との競合 新潟県内のみならず温泉・ガストロノミー・歴史・文化を強みとしているエリアが複数あるため、差別化が重要 ◆アフターコロナの顧客の消費行動の変化 コロナ禍を経て、消費行動が大きく変動しており、旅館の楽しみ方にもイノベーションが求められている
------	---	---

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

OPEST分析

<Political (政治的)>	<Social (社会的)>
<ul style="list-style-type: none"> ◆経済対策事業が終了（割引キャンペーン等） ◆DMOの登録要件の厳格化 ◆事業再構築補助金や地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業などの観光地に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ◆コロナ禍における需要の変化（顧客のニーズの変化） ◆社会情勢の変化に伴うインフラ料金の値上げに伴う原材料価格の高騰 ◆消費者の割引慣れ
<Economic (経済的)>	<Technological (技術的)>
<ul style="list-style-type: none"> ◆インバウンド需要の回復 ◆人手不足 ◆団体旅行の大幅減少 ◆インターネット等の対面しない予約の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ICTを活用した観光サービスの提供 ◆現金決済離れとオンライン決済の増加 ◆ICTの進歩による各種データの連携と複合分析

(3) ターゲット

<p>○第1ターゲット層</p> <p>※ターゲット層については、地域だけでなく、国・地域・世代・誘客のテーマ等の顧客の属性による設定が考えられる。</p> <p>特別な日に特別な体験を贈りたいと思っている観光客 国内 10代から 40代の女性で夫婦やカップル</p>
<p>○選定の理由</p> <p>国内随一の成分含有量を誇る硫黄泉で、美肌に非常に効果があり、「歩きたくなる温泉街」をコンセプトに民間主導で温泉街の景観整備と各宿のコンセプト・テーマの先鋭化に努めていることから、大切な人と一緒に思い出を贈りたいと思っている女性で 10代~40代をターゲット選定した。</p> <p>地域については、県内、関東圏をメインとしつつ、関西圏など西方面の開拓を進める。</p>
<p>○取組方針</p> <p>平成 26 年の月岡温泉開湯 100 周年を契機に「歩きたくなる温泉街」をコンセプトに、景観整備事業として「足湯」「手湯」「月明りの庭」などの施設、置き型行燈の設置、空き店舗を活用した新しい店舗への改修や新規テナントの誘致などを実施してきた。</p>

<p>令和4年度は観光庁の「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」に申請し、団体から個人・グループへの消費動向に合わせ、より顧客目線かつ特別な日に使える温泉地として女性目線の高付加価値な観光サービスができるよう取り組む。</p>	
<p>○ターゲット層 日本の歴史文化に関心があり、温泉文化になじみのある外国人 アジア圏の20代から50代の女性</p>	
<p>○選定の理由 当市のシンボルである「新発田城」は年間約50,000人（12月～3月冬季休業）の来館者があり、来館者の県外客の割合について、平成27年では約47%、平成30年では約55%とここ数年で県外からの観光客数が増えている。新発田市では新潟県の中でも江戸時代からの城郭が残るまちで国指定名勝の日本庭園「清水園」などもあることから日本文化に関心があり、温泉文化も受け入れられるアジア圏の20代から50代の女性をターゲットとして選定した。</p>	
<p>○取組方針 交通拠点である新発田駅を中心として、歴史的な街並み、景観維持や活用により、歩いて楽しめる街づくりを進めており、新発田駅から新発田城までの間に新発田市の歴史や偉人、文化を伝えられるコンパクトエリアとしてブランディングするよう取り組む。</p>	
<p>○今後のターゲット層 欧米圏の”SAKE”や城、鯨などの日本の歴史文化を身近に楽しみたい欧米の訪日外国人</p>	
<p>○選定の理由 当市の観光素材ではインバウンドはアジア圏が主になるが、今後観光消費を拡大させるためにも欧米圏も含めた取り組みが必要と考えている。主にFITで新潟市に宿泊し、新発田城を見る欧米圏の方の来訪は一定数あるため、上記街歩きの取り組みと合わせ英語圏でも販売できるよう取り組みを進める。</p>	
<p>○取組方針 上記、新発田城を中心とした歴史文化を深掘し新発田市内の街歩きを進めるとともに、庭とお茶、和菓子と町民文化として楽しめるコンテンツを作り、城下町新発田ならではの文化を楽しめるよう取り組みを進める。</p>	

(4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	<p>「思い出を贈れるまち しばた」 ～あなたのために大切な思い出を「巡るまち」「歩いて楽しい温泉街」～</p>
②コンセプトの考え方	<p>江戸時代の趣を残す県内唯一の城郭などの歴史遺産、地域の文化を感じる酒蔵、メイン通りに並ぶ新しくできたシンプルで雰囲気の良いお茶・お菓子など新発田の新旧多様な魅力を観光客1人ひとりがライフスタイルにあわせて体験し、訪れた観光客1人ひとりが満足感のある旅の思い出を作れる場所を目指す。</p> <p>また、ミシュランに選ばれた高級鯨とハイクラスでラグジュアリーを感じる客室、シェフが目の前で作る新潟文化の酒や米をふんだんに使ったご褒美のコース料理、家族だけの温泉・サウナ、お客様が贅沢を感じながら特別な日を過ごす温泉地となっている</p>

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	※戦略の共有方法について記入すること 理事会並びにカテゴリーごとのワーキンググループ 多様な関係者で構成する理事会を年3回から4回程度開催し、事業計画、予算、事業報告、決算などを議論する。その他、行政担当課を含む商工業者、農林漁業者、宿泊事業者、交通事業者、地域住民等を含むカテゴリーごとのワーキンググループを年3から4回程度開催し、事業と戦略調整を実施する。 また、活動の意義・内容・成果など社会の分析結果等を記載した事業報告書作成しを年1回開催する定時社員総会で、市内各事業者を中心に約240名程度の会員（社員）と合意形成、戦略共有を行う。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	（例）飲食店や宿泊施設をはじめとする地域が提供する観光サービスに係る品質保証制度を実施。 複数あるOTAやグルメサイトなどの口コミ情報などを定期的に評価する仕組みを構築し、各事業を実施する際のステークホルダーとの会議に活用する。また、各種WEB情報と手書きアンケート情報などをマッシュアップさせ、地域全体のサービス維持、向上のリソースとして活用する仕組みを構築する。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	（例）ワンストップ窓口の実施、SNSを利用した効果的なプロモーションの実施。 プロモーションにおける役割を行政とDMOで分け、新規顧客の獲得などをトップセールスとともに実施するのを行政が、観光サービスの向上的な提供状況や観光客目線のプロモーションをDMOが実施する形としている。また、ツールとしては新発田市観光協会ホームページ「しばた観光ガイド」を基本的な情報発信、地域一括予約サイト「shibata-trip」では決済まで完了できる一元窓口として、常時提供できる観光サービスの販売サイトとして運用する。 また、上記WEB上の発信と合わせ、JNTO認定外国人観光案内所カテゴリーⅡを取得した新発田市観光情報センターで観光案内を含めた宿泊予約、交通手配、飲食店手配などのワンストップサービスを実施する。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. KPI（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

(1) 必須KPI

項目 【単位】		2020(R2)年度		2021(R3)年度		2022(R4)年度		2023(R5)年度		2024(R6)年度		2025(R7)年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
必須KPI													
①-1 旅行消費額 (総額) 【千円】	全体	-	4,613,000	-	3,471,000	-	調査中	5,500,000		6,000,000		6,500,000	
	インバウンド	-	-	-	-	-	-	-		-		-	
①-2 旅行消費額 (一人当たり単価) 【円】	全体	-	31,384	-	36,926	-	調査中	40,000		45,000		50,000	
	インバウンド	-	-	-	-	-	-	-		-		-	
直近のKPI達成状況に対する分析		コロナ禍により適正な目標値が設定できなかった。今後は目標値の設定と併せて事業活動と連動する適正なデータ取得方法を検討する。											
②延べ宿泊者数 【千人泊】	全体	-	241	-	227	-	282	-		-		-	
	インバウンド	-	0	-	0	-	0.7	-		-		-	
直近のKPI達成状況に対する分析		コロナ禍により適正な目標値が設定できなかった。今後は目標値の設定と併せて事業活動と連動する適正なデータ取得方法を検討する。											
③来訪者満足度 【%】	全体	-	95	-	95	-	調査中	95		95		95	
	インバウンド	-	-	-	-	-	-	-		-		-	
直近のKPI達成状況に対する分析		新潟県が実施する満足度調査の数値を活用しているが、母数が少ないため、事業活動と連動する適正なデータ取得方法を検討する。											
④リピーター率 【%】	全体	-	66.85	-	75.3	-	調査中	65		65		65	
	インバウンド	-	-	-	-	-	-	-		-		-	
直近のKPI達成状況に対する分析		コロナ禍によりマイクロツーリズムが主な顧客だったため、非常にリピーター率が高くなっている。稼働率と新規顧客数値と併せて今後分析できるように検討する。											

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

令和4年度まではコロナ禍ということもあり、インバウンドに係る指標のみならず国内の実績もマクロ数字としては意味をなさないものとなってしまった。また、令和5年度は役員体制を見直し、ステークホルダーを理事として就任いただき、改めて目標値及び項目設定について協議する予定としている。

.....

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

消費額の取得方法について、令和元年度から新潟県で実施している温泉地満足度調査での対面アンケート調査により取得した宿泊地単価を設定した。以前までの数値は日帰り客との平均であり、数値把握しにくい状態であったことから設定した。しかし、コロナ禍の状況でのデータ取得方法及び目標値の設定は、今後の地域の状況を鑑み再度設定する予定としている。

.....

●延べ宿泊者数

コロナ禍の状況での目標値の設定は、今後の地域の状況を鑑み再度設定する予定としている。

.....

●来訪者満足度
 ※来訪者に関する満足度調査が未実施の場合、「観光地の満足度調査」
 (<https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/manzokudochousa.html>) を参照して実施し、例えば、毎年〇%増などの目標を設定して記入すること。

●来訪者満足度
 令和5年度現在は、新潟県で実施する県内温泉地満足度調査を使用し KPI 設定を行っている。宿泊地となる月岡温泉の満足度のみ調査していることから、市街地の日帰り観光客の満足度が取得できるような方法を検討している。

●リピーター率
 令和5年度現在は、新潟県で実施する県内温泉地満足度調査を使用し KPI 設定を行っている。

(2) その他の目標

Webサイトのアクセス状況【人】	全体	-	132,642	-	135,178	-	165,891	180,000		200,000		220,000
	インバウンド	-	1,442	-	2,137	-	2,724	4,500		5,000		6,500
直近のKPI達成状況に対する分析	コロナ禍からは一定程度回復してきたが、コロナ前よりは低いアクセス状況になっている。WEB動線を見直し、効果的に消費につなげられる手法を今後検討する。											
住民満足度【%】		-	-	-	-	-	-	-		-		-
直近のKPI達成状況に対する分析	住民満足度は調査していない。											
観光入込客数【人】		1,202,884		1,264,217		1,609,489						
直近のKPI達成状況に対する分析	コロナ前よりも低い数値になっているが、今後は入込数の調査の仕方を含め検討したい。											

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
 ※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
 その他の目標についても、必須KPIと同様に今後地域及び全体の経済動向を鑑みながら、設定していく予定としている。

【設定にあたっての考え方】

●WEBアクセス数
 コロナ禍の状況での目標値の設定は、今後の地域の状況を鑑み再度設定する予定としている。

●観光入込客数
 コロナ禍の状況での目標値の設定は、今後の地域の状況を鑑み再度設定する予定としている。

【

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に(1)収入、(2)支出を記入すること。
 ※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

(1) 収入

年(年度)	総収入(円)	内訳(具体的に記入すること)
2020(R2) 年度	(円) 59,213,482	(円) 【国からの補助金】 0円 【都道府県からの補助金】 1,341,000円 【市町村からの補助金】 36,374,745円 【公物管理受託】 0円 【収益事業】 7,663,501円 【会費】 2,711,000円 【特定財源(地方創生推進交付金)】 11,122,461円 【その他収入】 775円
2021(R3) 年度	(円) 136,180,188	(円) 【国からの補助金】 0円 【都道府県からの補助金】 2,018,000円 【市町村からの補助金】 39,505,136円 【公物管理受託】 0円 【収益事業】 82,952,692円 【会費】 2,637,000円 【特定財源(地方創生推進交付金)】 8,907,134円 【その他収入】 160,226円
2022(R4) 年度	(円) 187,481,610	(円) 【国からの補助金】 2,165,500円 【都道府県からの補助金】 0円 【市町村からの補助金】 54,476,000円 【公物管理受託】 0円 【収益事業】 117,895,529円 【会費】 2,695,000円 【特定財源(負担金)】 3,844,633円 【その他収入】 404,948円
2023(R5) 年度	(円) 88,172,000	(円) 【国からの補助金】 0円 【都道府県からの補助金】 0円 【市町村からの補助金】 60,476,000円 【公物管理受託】 0円 【収益事業】 19,765,000円 【会費】 2,680,000円 【特定財源(負担金)】 5,000,000円 【その他収入】 251,000円
2024(R6) 年度	(円) 88,172,000	(円) 【国からの補助金】 0円 【都道府県からの補助金】 0円 【市町村からの補助金】 60,476,000円 【公物管理受託】 0円 【収益事業】 19,765,000円 【会費】 2,680,000円 【特定財源(負担金)】 5,000,000円

		【その他収入】 251,000 円
2025 (R7) 年度	(円) 88,172,000	(円) 【国からの補助金】 0 円 【都道府県からの補助金】 0 円 【市町村からの補助金】 60,476,000 円 【公物管理受託】 0 円 【収益事業】 19,765,000 円 【会費】 2,680,000 円 【特定財源 (負担金)】 5,000,000 円 【その他収入】 251,000 円

(2) 支出

年 (年度)	総支出	内訳 (具体的に記入すること)
2020 (R2) 年度	(円) 58,857,618	【一般管理費】 8,994,598 円 【情報発信・プロモーション ⁱ 】 13,051,502 円 【受入環境整備等の着地整備】 12,872,022 円 【コンテンツ開発 (観光資源の磨き上げ)】 3,117,184 円 【マーケティング (市場調査、ブランド戦略等)】 7,966,673 円 【観光イベントの開催費】 5,657,896 円 【伝統行事開催費】 373,146 円 【収益事業】 6,162,928 円 【施設管理】 8,684,898 円
2021 (R3) 年度	(円) 132,364,326	【一般管理費】 6,906,374 円 【情報発信・プロモーション ⁱⁱ 】 13,540,283 円 【受入環境整備等の着地整備】 4,012,599 円 【コンテンツ開発 (観光資源の磨き上げ)】 2,615,933 円 【マーケティング (市場調査、ブランド戦略等)】 0 円 【観光イベントの開催費】 6,389,551 円 【伝統行事開催費】 172,931 円 【収益事業】 98,726,655 円
2022 (R4) 年度	(円) 182,268,743	【一般管理費】 7,732,106 円 【情報発信・プロモーション ⁱⁱⁱ 】 10,441,348 円 【受入環境整備等の着地整備】 6,829,992 円 【コンテンツ開発 (観光資源の磨き上げ)】 7,262,142 円 【マーケティング (市場調査、ブランド戦略等)】 0 円 【観光イベントの開催費】 7,671,780 円 【伝統行事開催費】 6,672,922 円 【収益事業】 123,665,065 円 【施設管理】 14,978,727 円
2023 (R5) 年度	(円) 91,872,000	【一般管理費】 9,579,000 円 【情報発信・プロモーション ^{iv} 】 150,000 円 【受入環境整備等の着地整備】 9,500,000 円 【コンテンツ開発 (観光資源の磨き上げ)】 8,000,000 円 【マーケティング (市場調査、ブランド戦略等)】 0 円 【観光イベントの開催費】 19,207,000 円 【収益事業】 8,250,000 円 【施設管理】 13,365,000 円

2024 (R 6) 年度	(円) 91,872,000	【一般管理費】 9,579,000 円 【情報発信・プロモーション^{vi}】 150,000 円 【受入環境整備等の着地整備】 9,500,000 円 【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】 8,000,000 円 【マーケティング（市場調査、ブランド戦略等）】 0 円 【観光イベントの開催費】 19,207,000 円 【収益事業】 8,250,000 円 【施設管理】 13,365,000 円
2025 (R 7) 年度	(円) 91,872,000	【一般管理費】 9,579,000 円 【情報発信・プロモーション^{vi}】 150,000 円 【受入環境整備等の着地整備】 9,500,000 円 【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】 8,000,000 円 【マーケティング（市場調査、ブランド戦略等）】 0 円 【観光イベントの開催費】 19,207,000 円 【収益事業】 8,250,000 円 【施設管理】 13,365,000 円

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

区域を構成する地方公共団体における宿泊税の導入、着地型旅行商品の造成・販売等の取組・方針を記載

当法人の財務状況については、主に社団法人としての会費収入、伝統的に実施してきた各種まつり・イベント・各種団体支援等の次代への継承するための事業経費に関わる新発田市からの補助金収入、観光施設管理に伴う物販収入や宿泊手配等の旅行業収入が収入財源の主なものである。大部分を占める補助金収入について、補助金の組み立てがまつりや各種イベントなど伝統的な事業を実施することを担保としているため、DMOとして継続的な活動に向けた運営資金としては活用しきれない状況が続いていた。そこで、補助金の使途の整理と行政との役割分担を行い、各種事業の棚卸、補助金の適正な執行管理を実施してきた。その中で受益者負担を原則とした各種イベントでの協賛金の募集や出店料収入などの自主財源の確保に取り組み、伝統的な事業を継承しつつ補助金頼みにならない事業の組み立てを行ってきた。

継続して新発田市と観光地域づくり法人との役割分担の明確化と各取り組みの整合性確保を念頭に、従来から実施している伝統的な継承事業の実施による協賛金の確保や出店料収入の確保と併せて、自主財源の確保を目指し、次の取り組みを進めていく。

○収益事業

- ・月岡温泉の宿泊手配や旅行サービス手配を基礎に、滞在型プログラムとして着地型旅行商品の企画・販売ができるよう、Web予約システムの構築や顧客データベースの構築を行い、宿泊需要を確保することで手数料収益の増加に努める。令和2年度では、国や県が進める経済対策を活用し、マイクロツーリズムとして県内客の宿泊手配及び旅行企画を通じ一定の収益を確保することができた。これらで収集した顧客をレポートしてもらえかつ当協会が顧客にとってメリットのあるサービスを提供できるよう引き続き事業を進めていく。

○会費収入

- ・現在、市内の他観光協会の合併に向け協議を進めており、会員数と会費収入の増加が望まれる。併せて市内企業への勧誘を強化する。
- ・現在の会費と参画のメリットにアンバランスさがあることが課題となっている。DMO活動を通して、マーケティングリサーチ実施による情報提供など単独事業者での導入が難しいサービスの提供により参画会員のメリットをわかりやすく示し、会費収入の増加に繋げる。

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

※設定対象区域の都道府県及び市町村が、本法人を当該都道府県・市町村における観光地域づくり法人として認める旨を含む意見を記入すること。

(例) ○○都道府県、××市町村は、△△法人を当該都道府県及び市町村における(広域連携DMO・地域連携DMO・地域DMO)として登録したいので△△法人とともに申請します。

現在、一般社団法人新発田市観光協会は、国内をはじめ各種諸外国からのインバウンド誘客事業並びに新発田産農産物、食品加工品等の販路拡大等に取り組んでいるところであり、より一層の広域観光並びに観光誘客につながることを期待する。

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO(県単位以外)や地域DMOと重複する場合の役割分担について(※重複しない場合は記載不要)

【他の地域連携DMOや地域DMOとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った(行っている)か】

(例) エリアが重複する●●DMOとは、月に一度の連絡会を行い、各取組の意見交換を行っている。

【区域が重複する背景】

【重複区域における、それぞれのDMOの役割分担について】

※重複する活動がないか、第三者から見た際に合理的と捉えられる役割分担になっているか等を踏まえて記入すること。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	井上 雅俊
担当部署名(役職)	係長
郵便番号	957-0055
所在地	新潟県新発田市諏訪町一丁目2-11 MINTO 館内
電話番号(直通)	0254-26-6789
FAX番号	0254-26-5031
E-mail	mt-inoue@shibata-info.jp

1 1. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	新潟県新発田市
担当者氏名	渡辺 貴守
担当部署名（役職）	新発田市観光振興課 課長
郵便番号	957-0055
所在地	新潟県新発田市諏訪町 1 丁目 2 番 11 号
電話番号（直通）	0254-28-9960
F A X 番号	0254-26-8585
E - m a i l	kanko@city.shibata.lg.jp

都道府県・市町村名	新潟県新発田市
担当者氏名	長谷川 英一
担当部署名（役職）	新発田市農林水産課 課長
郵便番号	959-2415
所在地	新潟県新発田市住田 510 番地
電話番号（直通）	0254-22-3030
F A X 番号	0254-33-3930
E - m a i l	norinsui@city.shibata.lg.jp

都道府県・市町村名	新潟県新発田市
担当者氏名	高山 広靖
担当部署名（役職）	新発田市商工振興課 課長
郵便番号	957-8686
所在地	新潟県新発田市中心街 3 丁目 3 番 3 号 ヨリネスしばた 6 階
電話番号（直通）	0254-28-9650
F A X 番号	0254-28-9670
E - m a i l	shoukou@city.shibata.lg.jp

都道府県・市町村名	新潟県新発田市
担当者氏名	見田 賢一
担当部署名（役職）	新発田市スポーツ推進課 課長
郵便番号	957-8686
所在地	新潟県新発田市中心街 3 丁目 3 番 3 号 ヨリネスしばた 6 階
電話番号（直通）	0254-28-9660
F A X 番号	0254-28-9670

E-mail

sports@city.shibata.lg.jp

-
- i ※可能であれば国内外の割合を記載
 - ii ※可能であれば国内外の割合を記載
 - iii ※可能であれば国内外の割合を記載
 - iv ※可能であれば国内外の割合を記載
 - v ※可能であれば国内外の割合を記載
 - vi ※可能であれば国内外の割合を記載

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

新潟県新発田市

【設立時期】平成26年2月14日

【設立経緯】

③区域の観光協会がDMOに移行

【代表者】清田 稲盛樹

【マーケティング責任者(CMO)】井上 雅俊

【財務責任者(CFO)】井上 雅俊

【職員数】11人【常勤6人(正職員4人・契約社員1人・出向等1人)、パート5人】

【主な収入】

収益事業 117百万円、補助金等 62百万円(令和4年度決算)

【総支出】

事業費 174百万円、一般管理費 7百万円(令和4年度決算)

【連携する主な事業者】

新発田市、新発田商工会議所、月岡温泉旅館組合等

KPI(実績・目標)

記入日: 令和5年 7月27日

※()内は外国人に関するもの。

項目 【単位】		2020(R2)年度		2021(R3)年度		2022(R4)年度		2023(R5)年度		2024(R6)年度		2025(R7)年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
必須KPI													
①-1 旅行消費額 (総額) 【千円】	全体	-	4,613,000	-	3,471,000	-	調査中	5,500,000	/	6,000,000	/	6,500,000	/
	インバウンド	-	-	-	-	-	-	-	/	-	/	-	/
①-2 旅行消費額 (一人当たり単価) 【円】	全体	-	31,384	-	36,926	-	調査中	40,000	/	45,000	/	50,000	/
	インバウンド	-	-	-	-	-	-	-	/	-	/	-	/
直近のKPI達成状況に対する分析 コロナ禍により適正な目標値が設定できなかった。今後は目標値の設定と併せて事業活動と連動する適正なデータ取得方法を検討する。													
②延べ宿泊者数 【千人泊】	全体	-	241	-	227	-	282	-	/	-	/	-	/
	インバウンド	-	0	-	0	-	0.7	-	/	-	/	-	/
直近のKPI達成状況に対する分析 コロナ禍により適正な目標値が設定できなかった。今後は目標値の設定と併せて事業活動と連動する適正なデータ取得方法を検討する。													
③来訪者満足度 【%】	全体	-	95	-	95	-	調査中	95	/	95	/	95	/
	インバウンド	-	-	-	-	-	-	-	/	-	/	-	/
直近のKPI達成状況に対する分析 新潟県が実施する満足度調査の数値を活用しているが、母数が少ないため、事業活動と連動する適正なデータ取得方法を検討する。													
④リピーター率 【%】	全体	-	66.85	-	75.3	-	調査中	65	/	65	/	65	/
	インバウンド	-	-	-	-	-	-	-	/	-	/	-	/
直近のKPI達成状況に対する分析 コロナ禍によりマイクロツーリズムが主な顧客だったため、非常にリピーター率が高くなっている。稼働率と新規顧客数値と併せて今後分析できるように検討する。													

戦略

【主なターゲット】

特別な日に特別な体験を贈りたいと思っている観光客

国内10代から40代の女性で夫婦やカップル

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

「歩きたくなる温泉街」をコンセプトに、景観整備事業を進めるとともに顧客目線かつ特別な日に使える高単価な温泉地を目指す。

【観光地域づくりのコンセプト】

「思い出を贈れるまち しばた」
～あなたのために大切な思い出を「巡るまち」
「歩いて楽しい温泉街」～

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ・収益事業】

- ・日帰りゴルフプランの販売
- ・地域一括予約サイトで月岡温泉の宿の宿泊予約
- ・学生の合宿、大会などの宿泊手配一元窓口

【受入環境整備】

- ・豊栄駅から「ぶらさんシャトルバス」の毎日運行
- ・新潟空港から旅行商品「月岡周遊ライナー」の運行委託

【情報発信・プロモーション】

- ・市長による首都圏・関西圏・海外トップセールス
- ・地域一括予約サイト「Shibata-trip」を立ち上げ、地域の観光サービスを予約から決済まで一元化

【その他】

- ・行政と協同で新発田産米の輸出に伴う観光プロモーションを実施

